2/25

三天規／耐火構造等 X問まとめ（15問）

・用語の定義
- 耐火性能（倒壊） — 1時間
- 準耐火性能 — 45分 ← 「加熱終了後」は求められていない。

同じ時間・ときかれる

特建 主要構造部を「防火構造」は X　外壁・軒裏の構造
準耐火構造・耐火構造に適合

準防火性能 ～建築物の周囲において発生する通常の火災による延火焼の抑制に一定の効果を発揮するために外壁に必要とされる性能

耐火
① 非損傷性
② 遮熱性
③ 遮炎性　内部→外

防火（外の火を扱う!）
① 非損傷性
② 遮熱性　周囲の火

・遮炎性能 ～ 加熱開始後20分間（違う時間できいてくる。）加熱面以外の面に火炎を出さぬよう防火設備（開口部）に必要とされる性能

・準耐火構造　主要構造部の地上部分の層間変形角は 1/150以内
1/200以内でなければならないときいてくる。

・準不燃材料「避難上有害な煙又はガスを発生しない」← 屋外の仕上げには不要

・防火区画検証法　防火設備の屋内において（「周囲において」は X。）発生が予測される火災時における遮炎に関する性能を検証する方法